



2025年12月期 第1四半期 決算説明

株式会社ビジョン

証券コード：9416

2025年5月15日

- ▶ 先行投資165百万円（PL計上額）を吸収し、営業利益は1,501百万円。第2四半期累計予想の営業利益2,797百万円に対する進捗率は53.7%と順調に推移。
- ▶ 2028年の営業利益100億円達成に向けた、積極的な先行投資を実施。

グローバルWiFi事業

▶ 米国ニューヨーク : 50百万円

「World eSIM」 : 65百万円

計 : 115百万円

情報通信サービス事業

▶ 経理BPO業務 : 50百万円

計 : 165百万円

2025年12月期 第1四半期 ハイライト



売上高

9,237 百万円

2024年
第1四半期
前年同期比

8,581 百万円

7.6%増

営業利益

1,501 百万円

2024年
第1四半期
前年同期比

1,524 百万円

1.5%減

グローバルWiFi事業

売上高

4,881 百万円

2024年
第1四半期
前年同期比

4,647 百万円 5.0%増

セグメント利益

1,413 百万円

2024年
第1四半期
前年同期比

1,431 百万円 1.3%減

情報通信サービス事業

売上高

4,013 百万円

2024年
第1四半期
前年同期比

3,681 百万円 9.0%増

セグメント利益

517 百万円

2024年
第1四半期
前年同期比

534 百万円 3.2%減

グランピング・ツーリズム事業

売上高

340 百万円

2024年
第1四半期
前年同期比

243 百万円 39.7%増

セグメント利益

29 百万円

2024年
第1四半期
前年同期比

28 百万円 2.9%増

連結

- ◆ 中期経営計画の最終事業年度（2028年）における営業利益100億円達成に向け、米国ニューヨークでの営業開始、「World eSIM」事業の拡大に向けた施策、データドリブンセールスに向けた経理BPO業務の拠点展開や人材確保へ先行投資を実施。
- ◆ 売上高9,237百万円（前年同期比7.6%増）、営業利益1,501百万円（前年同期比1.5%減）

グローバルWiFi事業

- ◆ 法人需要が堅調に推移。
- ◆ 顧客単価は引き続き高水準を維持。
- ◆ インバウンド：訪日外国人向けWiFiレンタルサービス「NINJA WiFi®」や空港カウンターに設置しているSIMカード自動販売機での売上が順調に推移。
- ◆ 積極的な先行投資を実施。
米国ニューヨーク：50百万円
「World eSIM」：65百万円
計：115百万円

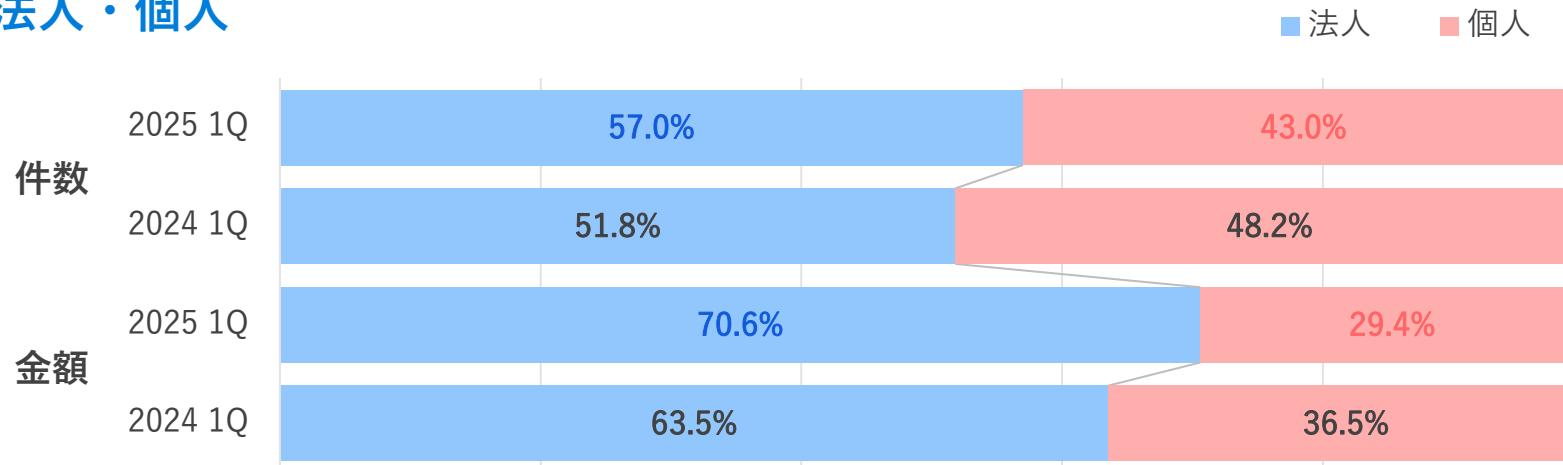
情報通信サービス事業

- ◆ 中途採用を積極的に進めることで、営業力を強化。
- ◆ 移動体通信機器の販売やスペースマネジメント関連事業が好調に推移。
- ◆ 自社ストックサービスの拡販による安定的な収益基盤の構築に注力し、順調に推移。
- ◆ 積極的な先行投資を実施。
経理BPO業務：50百万円

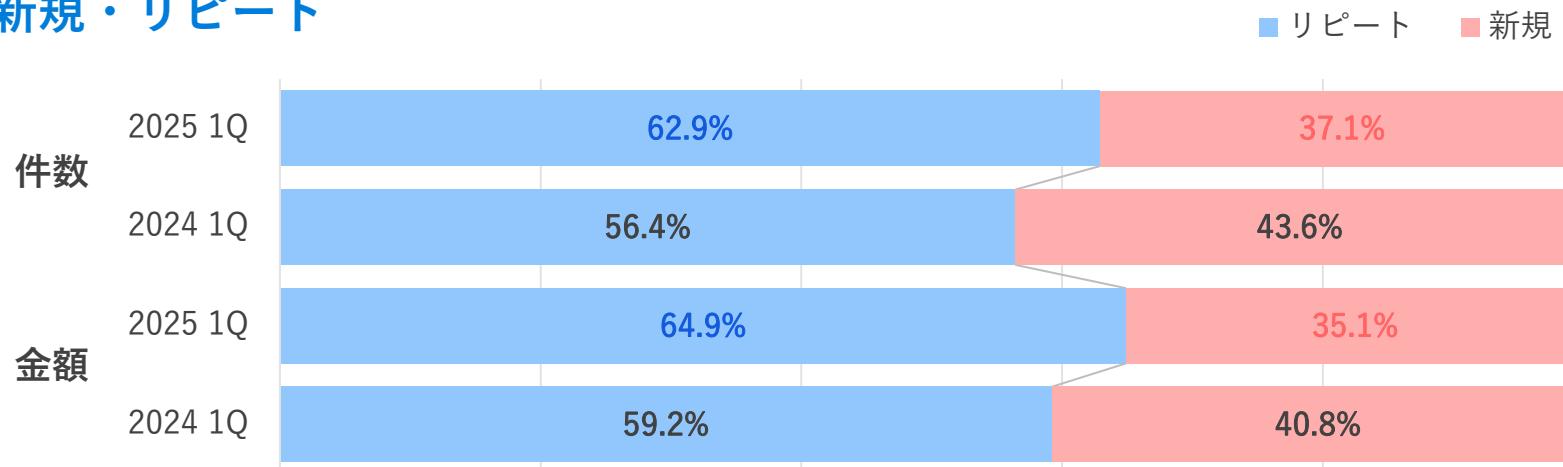
グランピング・ツーリズム事業

- ◆ 「VISION GLAMPING Resort & Spa 山中湖」（山梨県山中湖村）、「VISION GLAMPING Resort & Spa こしかの温泉」（鹿児島県霧島市）ともに、順調に推移。
- ◆ 外国人の宿泊者が増加。
- ◆ 高付加価値旅行の手配をするDMCモデルによるインバウンド・ツーリズム事業が順調に成長。

法人・個人

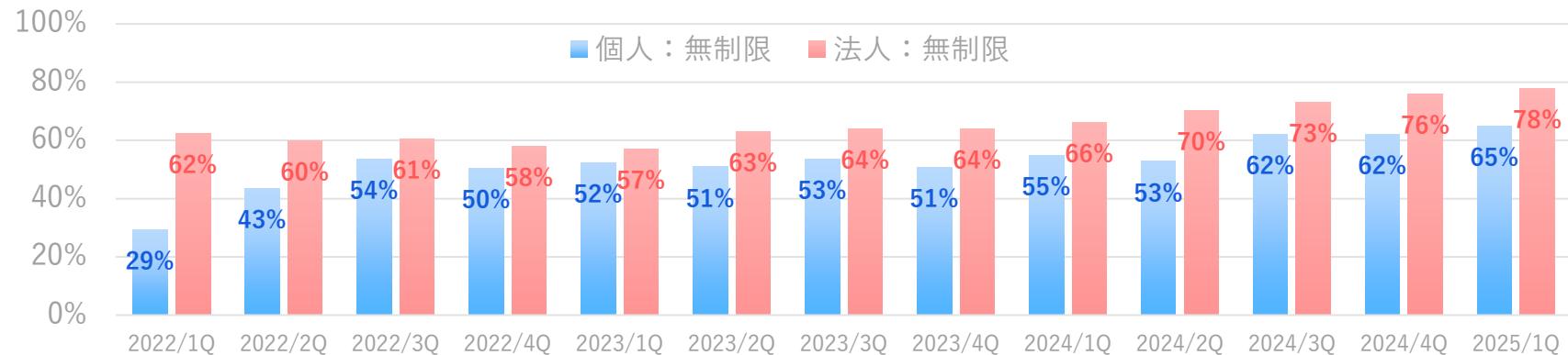


新規・リピート

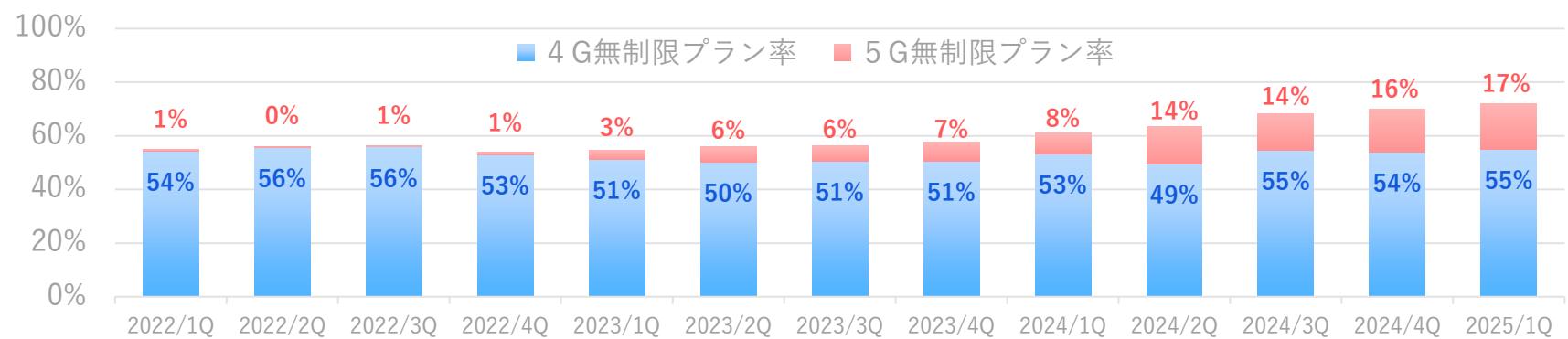


- ◆ 無制限プラン（4G・5G）の提供エリア拡大も寄与し、利用率は順調に推移。

無制限プランの利用率（法人・個人）

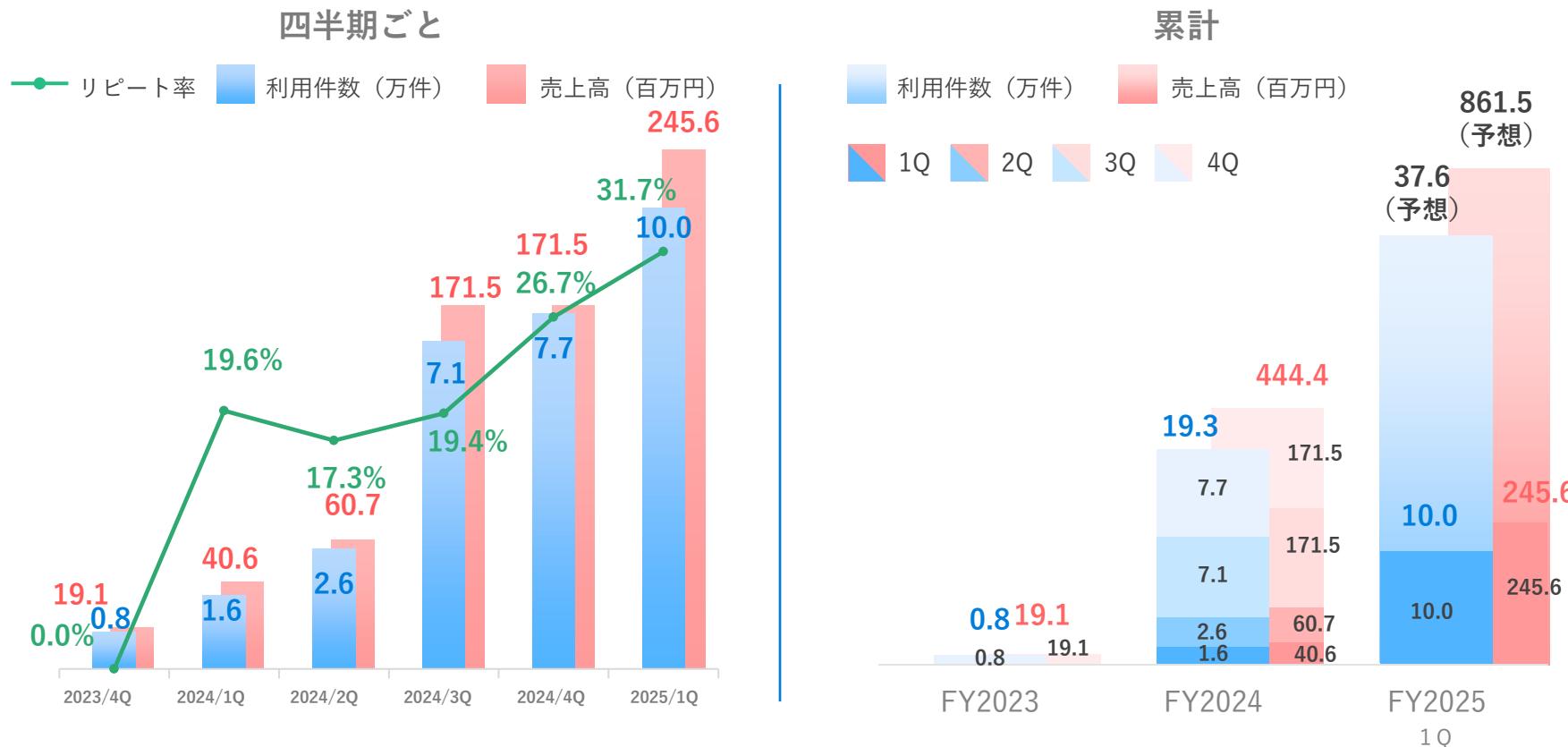


無制限プラン利用率（5G・4G）



- ◆ World eSIMの販売を強化。売上は前年同期比504%増と大幅に伸長。今期業績予想に対する進捗率は28.5%。
- ◆ グローバルWiFi事業における当四半期売上高構成比は5.0%となり、件数およびリピート率も順調に推移。

World eSIMの売上高・利用件数・リピート率

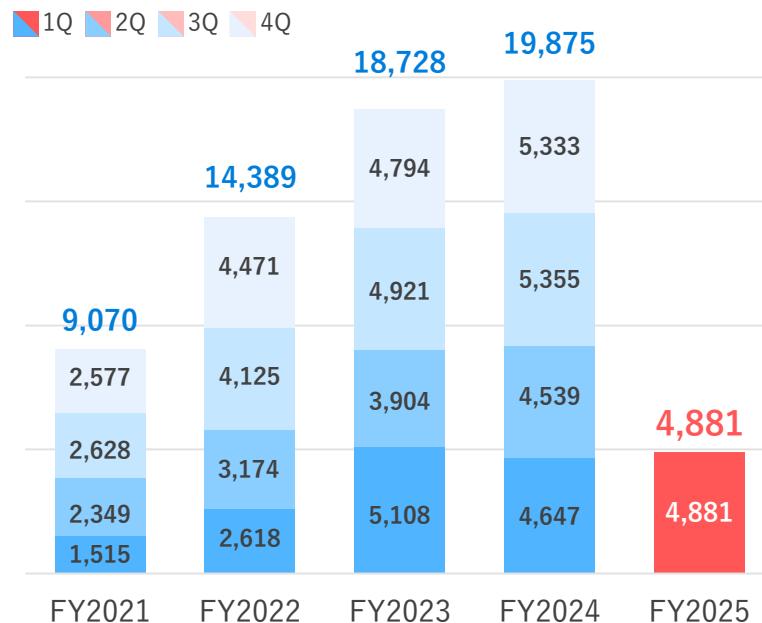


- ◆ 中期経営計画の最終事業年度（2028年）における営業利益100億円達成に向け、米国ニューヨークで営業開始、「World eSIM」事業の拡大に向けた施策、データドリブンセールスに向けた経理BPO業務の拠点展開や人材確保へ先行投資を実施。
- ◆ 売上高9,237百万円（前年同期比7.6%増）、営業利益1,501百万円（前年同期比1.5%減）

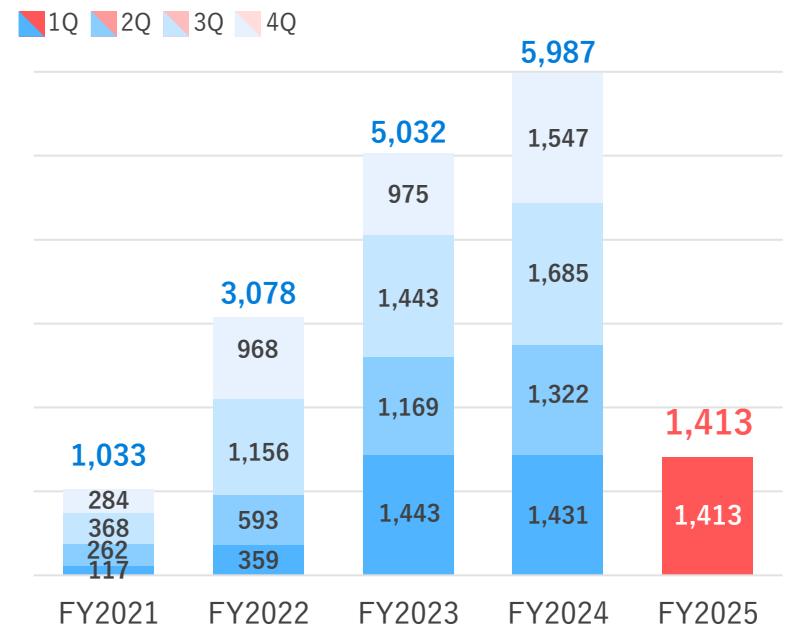
(百万円)	2024年 1Q		2025年 1Q		YoY増減率		通期業績予想	
	実績	構成比	実績	構成比	増減額	増減率	予想	進捗率
売上高	8,581	100.0%	9,237	100.0%	656	7.6%	40,002	23.1%
売上原価	3,633	42.3%	4,066	44.0%	433	11.9%	16,802	24.2%
売上総利益	4,948	57.7%	5,170	56.0%	222	4.5%	23,200	22.3%
販売管理費	3,423	39.9%	3,668	39.7%	244	7.2%	16,761	21.9%
営業利益	1,524	17.8%	1,501	16.3%	△22	△1.5%	6,439	23.3%
経常利益	1,553	18.1%	1,514	16.4%	△38	△2.5%	6,445	23.5%
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,019	11.9%	1,047	11.3%	27	2.7%	4,382	23.9%

- ◆ 法人需要が堅調に推移。顧客単価は引き続き高水準を維持。
- ◆ インバウンド：訪日外国人向けWi-Fiレンタルサービス「NINJA WiFi®」や空港カウンターに設置しているSIMカード自動販売機での売上が順調に推移。
- ◆ 米国ニューヨーク、「World eSIM」へ先行投資を実施。

売上高



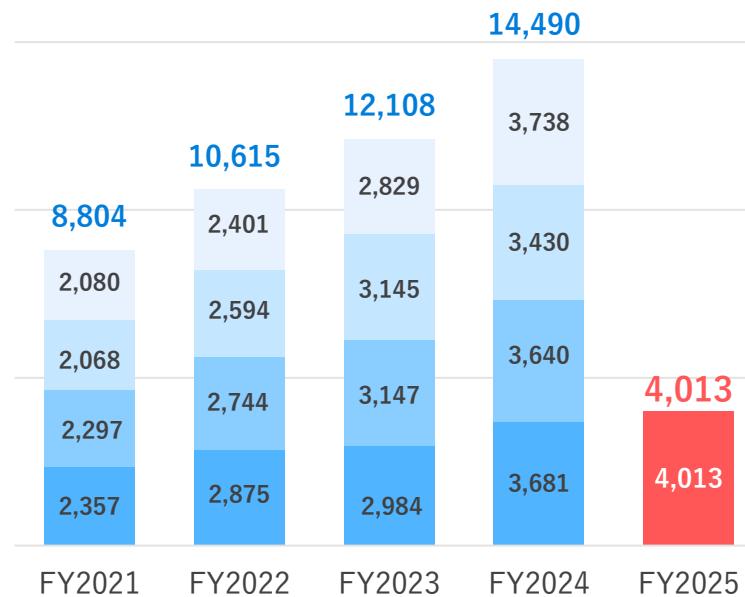
セグメント利益



- ◆ 移動体通信機器の販売やスペースマネジメント関連事業が好調に推移。
- ◆ 自社ストックサービスの拡販による安定的な収益基盤の構築に注力し、順調に推移。
- ◆ 経理BPO業務の拠点展開や人材確保へ先行投資を実施。

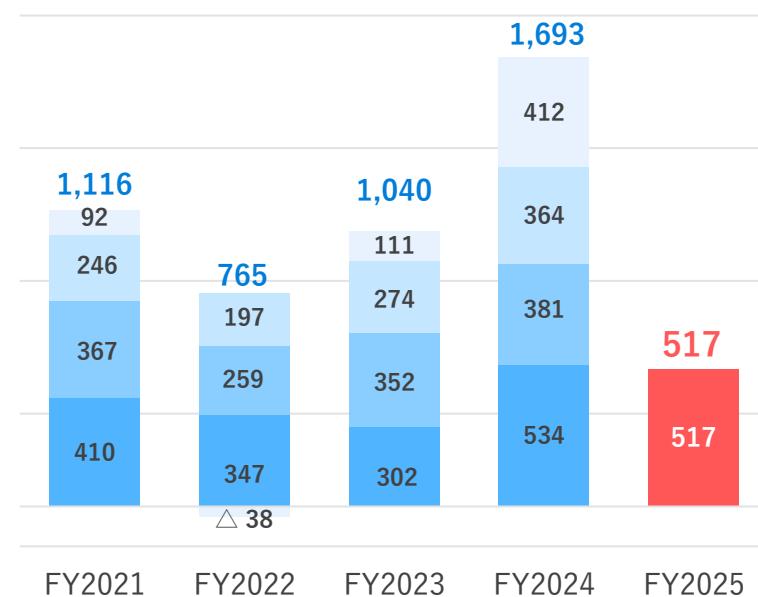
売上高

1Q 2Q 3Q 4Q



セグメント利益又は損失 (△)

1Q 2Q 3Q 4Q



長期的に安定した収益基盤の構築

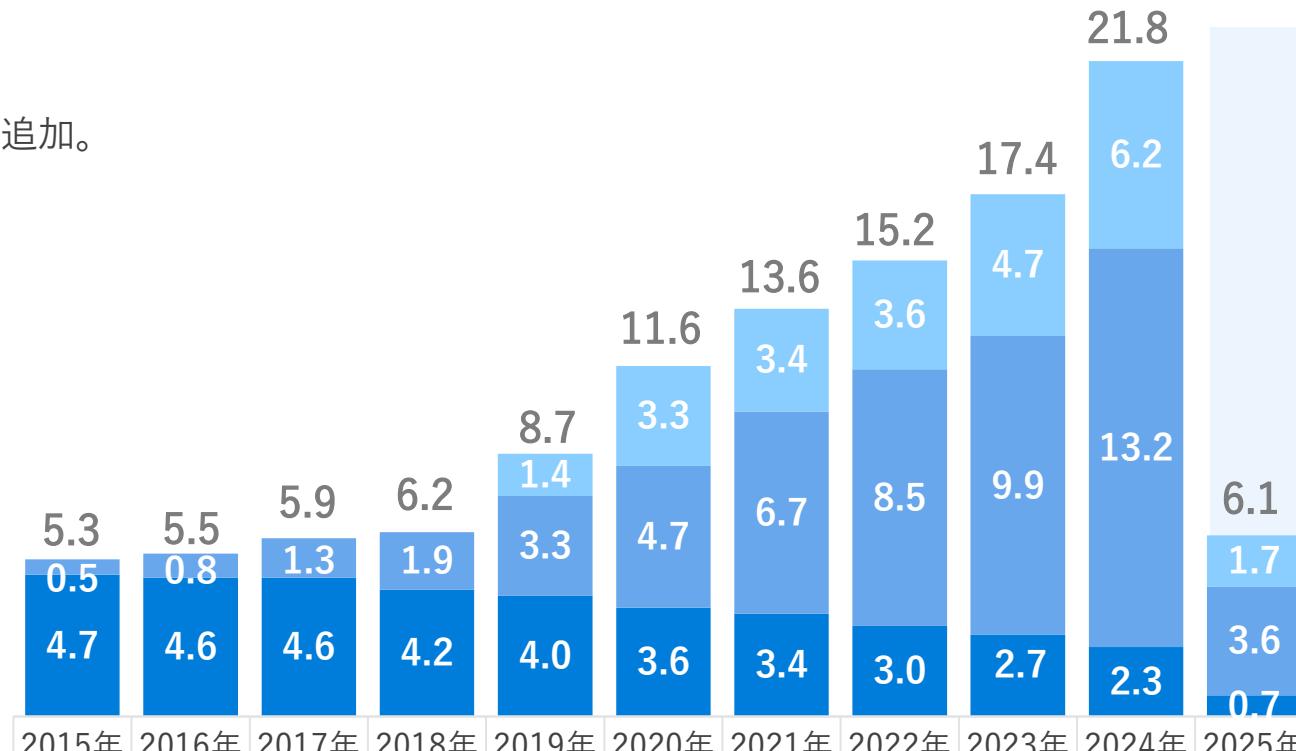
自社ストックサービスの拡販と継続利用を推進し、長期的に安定した収益基盤となるストック収益を強化。

グローバルWiFiのストックを追加。

2020年：10億円突破

2024年：20億円突破

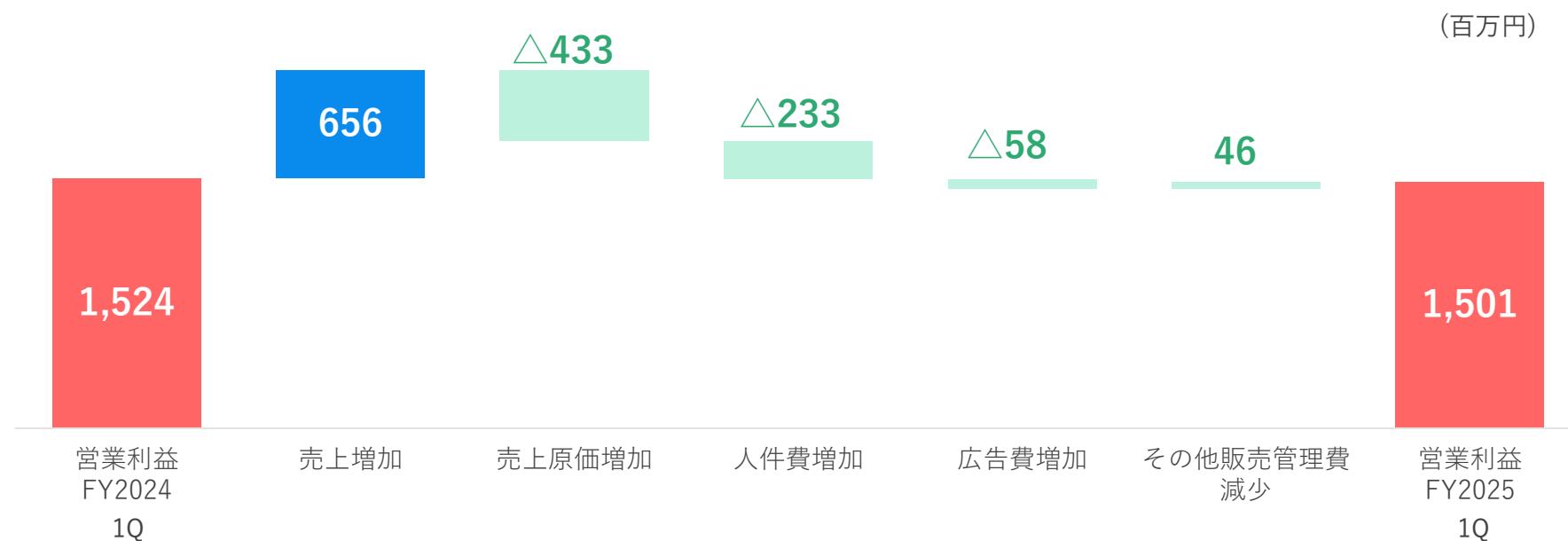
(億円)



	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年
■ グローバルWiFiストック	0	0	0	0	1.4	3.3	3.4	3.6	4.7	6.2	1.7
■ 情報通信サービス自社ストック	0.5	0.8	1.3	1.9	3.3	4.7	6.7	8.5	9.9	13.2	3.6
■ キャリア・メーカーストック	4.7	4.6	4.6	4.2	4.0	3.6	3.4	3.0	2.7	2.3	0.7

営業利益の減少要因 前年同期比

- グローバルWiFiの法人需要が堅調に推移していることに加え、データ容量「無制限プラン（4G・5G）」の需要が高い水準を保っており、顧客単価は引き続き高水準を維持。情報通信サービスでは移動体通信機器の販売やスペースマネジメント関連事業が好調に推移。高付加価値旅行の手配をするDMCモデルによるインバウンド・ツーリズム事業が順調に成長。
- 売上高は前年同期比7.6%増、売上総利益は4.5%増。
- 一方で、先行投資の影響により販売管理費は7.2%増加し、営業利益率は前年同期の17.8%から16.3%へ低下。



AI・RPAを用いた業務効率化

DX加速：AI・RPA活用で実現する生産性向上

生産性・品質の向上 顧客体験の向上



人的リソース・コスト削減



意思決定支援



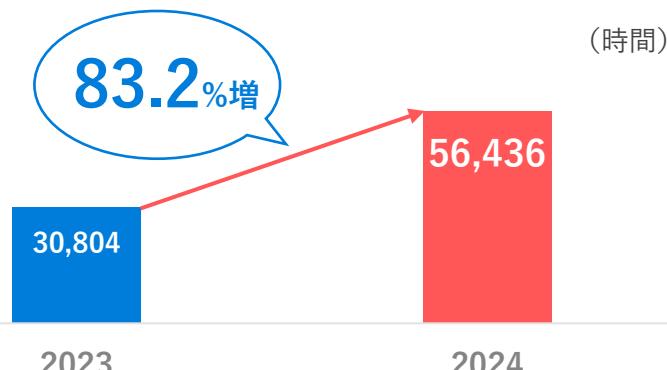
残業時間の削減



AI・RPAの利活用

- 反復的で時間のかかる単調な作業を自動化
- 24時間365日稼働可能な業務プロセスの実現
- AIのデータ分析による意思決定の支援
- 組織内の見える化、平準化
- 新しいビジネスモデルやサービスの創出

年間削減時間



情報システム部門

- バックオフィスの課題を発見し、ロボットの作成やAIを活用した開発
- 簡単なロボットやAIを作成できるようにトレーニング・サポート

バックオフィス部門



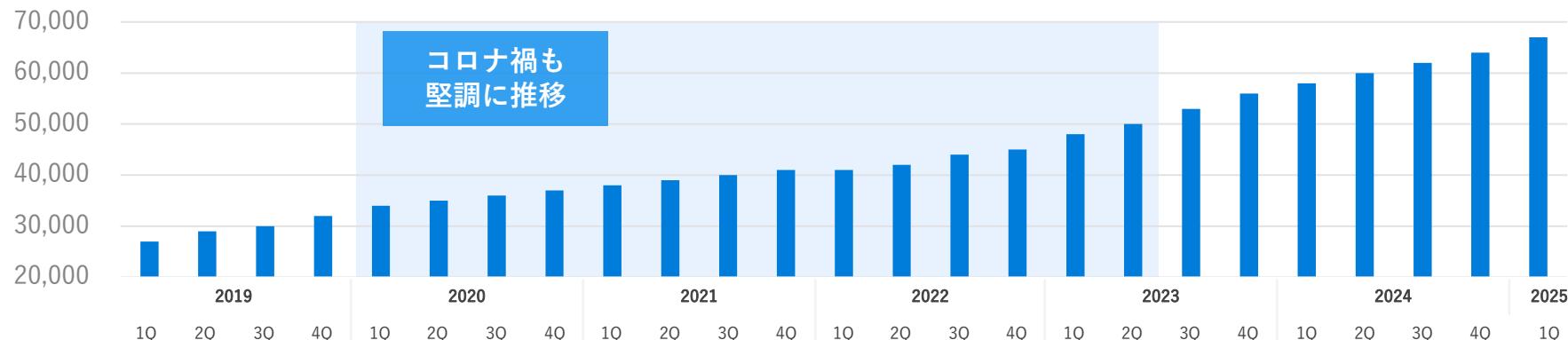
改善に関する問い合わせ

トレーニング

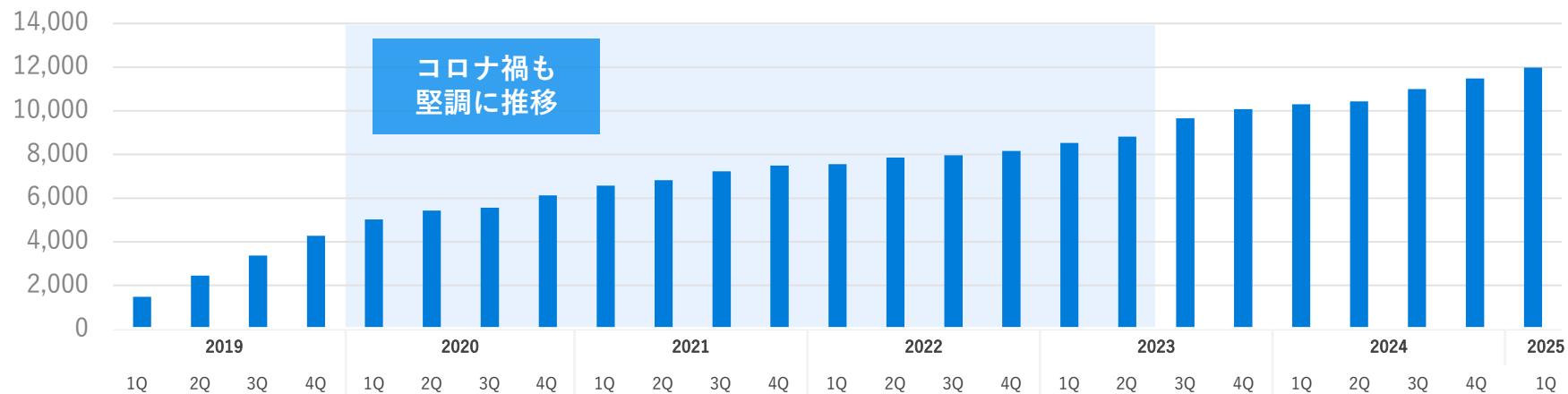
簡単なロボット作成

- RPA・生成AIの利用スキルが身につく
- ロボットを自分で作り活用できる
- AI等を活用した業務改善の意識が高まり、積極的な自動化により業務効率改善が進む

法人専用フォームをご利用の法人一括請求申込み登録社数



グローバルWiFi for Biz 登録社数



「グローバルWiFi®」 「NINJA WiFi®」 のブランドを通じて、会場内の東ゲート広場および西ゲート広場の2か所にサービスブースを展開。

Wi-Fiルーターやモバイルバッテリーをキャッシュレスで手軽に利用できる環境を整え、世界中から訪れるゲストの快適な万博体験を支援しています。

初日から多くの来場者がブースを訪れ、通信・充電機器に対するニーズの高さがうかがえるスタートとなりました。事前に予約した機器の受け取りに加え、万博会場内でのお申し込みや充電ニーズに対応するモバイルバッテリーのレンタルも展開しております。全てのサービスにおいて、キャッシュレス決済に対応し、利便性を追及した運用をおこなっております。また、レンタル機器の返却は会場内に併設した返却ボックスのほか、関西国際空港や伊丹空港など全国20の空港での返却が可能です。



2025年2月20日のリリースは[こちら](#)
2025年4月15日のリリースは[こちら](#)

「ビジョンランピングリゾート山中湖」が、楽天トラベルアワード2024にて「楽天トラベルゴールドアワード2024」を受賞。

有名ホテルや老舗旅館が名を連ねる受賞施設のなか、アウトドア体験をラグジュアリーな空間のなかで楽しめるグランピング施設として、唯一の名誉に輝きました。

■楽天トラベルアワード 2024

楽天トラベルアワードは、「楽天トラベル」が全国の登録宿泊施設の中から、過去1年間で顕著な実績をあげ、高い評価を得た宿泊施設を対象に、ゴールド、シルバー、ブロンズの順に表彰する制度です。



[リリースはこちら](#)

ビジョングループの映像社内報が2024年度「経団連推薦社内報審査」の映像社内報部門で「奨励賞」を受賞

一般社団法人 経団連事業サービス 社内広報センターが主催する2024年度「経団連推薦社内報審査」の映像社内報部門において「奨励賞」を受賞しました。経団連推薦社内報審査での受賞は今回が初めてとなります。

今回の審査では「エンターテイメント性を持ちながら正確な情報発信とコンプライアンスを心がけた良質な作品」、「さまざまな部署の従業員を紹介することで、グループの多様性と厚み、魅力を感じさせます」との評価をいただきました。



[リリースはこちら](#)

株主還元

配当方針

当社グループは、財務体質の強化と事業拡大のために必要な内部留保を確保しつつ、当社グループを取り巻く事業環境を勘案して、株主に対して安定的かつ継続的な利益還元を実施していくことを基本方針といたします。この方針に基づき、持続的な成長に向けた戦略投資を最優先とし、企業価値の最大化を図る一方で、資本コストを意識しながら資本効率を高め、安定的かつ持続的な配当の実施と株価形成に繋げていくことを目指し、配当性向30～40%を目安といたします。

また、自己株式の取得・消却につきましては、資本効率の向上および経営環境の変化に対応した機動的な資本政策の遂行を図るために、適切に実施してまいる所存です。剰余金の配当は、期末配当の年1回もしくは中間配当を含めた年2回の配当を行うこととし、配当額の決定機関は取締役会であります。

	1株当たり配当金（円）		
	第2四半期末	期末	合計
2024年12月期	13円00銭	14円00銭	27円00銭
2025年12月期（予想）	20円00銭	25円00銭	45円00銭

将来見通しに関する注意事項



本発表において提供される資料並びに情報は、いわゆる「見通し情報」（forward-looking statements）を含みます。

これらは、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。

それらのリスクや不確実性には、一般的な業界並びに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。

今後、新しい情報や将来の出来事等があった場合であっても、当社は本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正を行う義務を負うものではありません。

株式会社ビジョン

お問い合わせ： IR部 ir@vision-net.co.jp



世の中の情報通信産業革命に貢献します。